

市長（作野広昭君）

公共施設マネジメント白書の策定についてであります。公共施設マネジメント白書は先進都市において公共施設の老朽化問題と将来的な人口減少に対処するため、公共施設のあり方について抜本的な見直しを行い、適正な配置と効率的な管理運営を目指し策定しているものであります。

特に最近の公共施設白書では、施設系の建物だけではなく、道路・橋梁などのインフラ系や上下水道などのプラント系を合わせた公共施設全体の保有総量について圧縮し、更新に係る優先順位づけや計画的な維持保全による長寿命化などを方針としています。

本市においては現在、第二次行財政改革大綱に従い、公共施設の管理見直しを進めていますが、来年度からは第三次の行財政改革大綱の策定準備に入りたいと考えており、この新しい行財政改革大綱の中において、公共施設のマネジメント、資産経営の観点を取り入れていきたいと考えております。

また、新大綱の策定に当たっては、これまでどおり市民代表による行財政改革戦略会議で御審議をいただいた上でパブリックコメントを行い、市民の皆様の御意見をお聞きしながら進めてまいりたいと考えております。